



害な一

一入保

以定金険%

上のが料物の障主や増

い安財ら出

供な金般よ

をん主計県

行になか支

さが会び

NO.**708** 平成26年 日号

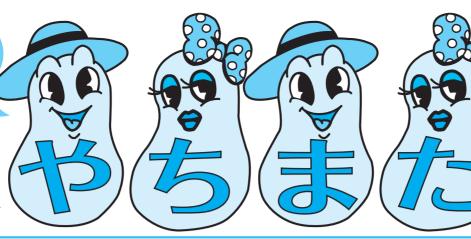
新緑が目に 鮮やかな 季節になり

ました。

この広報紙は、環境に 配慮したバージンパルブ を使用しています。

は75ら者度2者い際

0 円



●発行 八街市

総務部秘書広報課 **一**編集 発行日 毎月1日・15日

〒289 − 1192

千葉県八街市八街ほ35番地29

☎ (043) 443 − 1111

ホームページ

http://www.city.yachimata.lg.jp/

人口の動き 4月1日現在 人口 73,956人(前月比一207人) 男 37,542人 女 36,414人 世帯数 30,476世帯

3

まよ計必般特

0 会

とす源展と度費勢化え在 こしるををと・のにを ての当まが程八 、厳初し 増額計のて施重目も施節立推 のはを結編策点指に策減ち進予し予た月て市 合果成精的し、の合、す算い算 °24い議 8 対わ、し選・てさ見理全る全財に 6 前せ平ま型効、ら直化般と般政つ 日た会 に平 億年た成しの果限なしやにいの状い 可成月 9度当26た通的らるに既わう節況て 決26定 。年にれ市努存た基減をは 0 比初年 ・年例 予配たのめ制る本合踏 成度会 7 5 予度 ・算の 算分財発る 経姿理ま現 立予に

4 ○ 険 出 険 繰 出

65歳の医比万**医**まし負財般険比の**険**て次るす歳(繰療¹¹3**療**す、傷源会税・万 まよ計必

な亡被ら庫保、保の支

3

増

要死

るは

。て

す と で計や

か国%エー

増



1 ○ で的

1

万

あ源会期対1期付なの金お民対1民設市きし行別対9別。行るで計高前6高をど疾がよ健前億健けににてう会前億会 方、か齢年1齢行に病主が再年の第二、

め市 会 基

70 2443 1263 12億3800万 一般会計 一般会計とは、市 一般会計とは、市 一般会計とは、市 一般会計とは、市 一般会計とよっため のの基 6 計本増

うで要会定し 9 % 主 。なすの計の あと事増 1 ○要援な一付 5 **下**な、財般金介 $3 \bigcirc$

万

1 ◎ び水な一用 全源の金水事、企 5 企維・財般料受 道業市業対億業持雨源会 安、資企料のが(前2(管水で計国者前1道除介で計国保前3保心市金業金会企水年9水理)、か庫負年3事給護、かお険年0険な民や債、計業道度2道を施公ら支担度3業付度被らよ料度0 国でと事比0事行設共の出金比9 のみ助一おすし業2万業いの下線金や19万世な全船と。て)・3 まれる、下・2 下 : ま整水入 を会会す備道金市水% 経会%円計。お金が債道が 営計増 お(が債道派)

 $1 \bigcirc$ 計

な一保度4保れ、け理合と度

す

1齢行に病主び康年6康らは設経場計年

万

益対億水保要源会 護対億護 をに保のびや比3 行応険繰県支3万 いじ者入支払 3 の金出基 まて % 円 、要が金金 必支主、交 す 。必支主

料合葉方 なに県の ど対後医 のし期療 高 費 付収齢の を納者給 行さ医付 いれ療を また広行 す保域う

成 🗗 財 2

1

た。

。険連千

般会計当初予算額の比較

(単位:千円)

歳				歳出				
区分	平成26年度 当初予算額	平成25年度 当初予算額	比 較	区 分	平成26年度 当初予算額	平成25年度 当初予算額	比 較	
市税	6,959,098	6,921,576	37,522	議会費	237,407	242,353	△4,946	
地方譲与税	193,000	205,000	△12,000	総務費	2,035,212	2,048,754	△13,542	
地方消費税交付金	673,000	587,000	86,000	民生費	8,245,355	7,794,332	451,023	
地方交付税	3,968,000	3,844,000	124,000	衛生費	2,240,316	2,262,497	△22,181	
分担金および負担金	185,077	201,470	△16,393	農林水産業費	235,647	259,373	△23,726	
使用料および手数料	283,559	278,822	4,737	商工費	125,592	126,809	△1,217	
国・県支出金	5,204,680	4,457,657	747,023	土木費	1,382,699	1,323,458	59,241	
繰入金 ※1	851,601	911,699	△60,098	消防費	1,234,951	1,258,090	△23,139	
諸収入	551,426	547,380	4,046	教育費	3,103,862	2,102,815	1,001,047	
市 債 ※2	2,127,300	1,696,900	430,400	公債費 ※3	2,376,597	2,476,178	△99,581	
その他	241,259	263,496	△22,237	その他	20,362	20,341	21	
合 計	21,238,000	19,915,000	1,323,000	合 計	21,238,000	19,915,000	1,323,000	

繰入金とは、年度間の財源の均衡を図るために積み立てておいた基金から繰り入れるお金をいいます。 **※1** ※2 市債とは、建設事業などを行うときの財源とするために国や銀行などから借り入れるお金をいいます。

※3 公債費とは、借り入れた市債の元金と利子を返済するお金をいいます。

主 な事業を総合計画 成 26 年 度 0 1 な 4 7 万 1 千 円

つの街づくり」宣言』 **めざします!便利で めざします!便利で な街** ふれあいバスの運行 **な** で 快

路共二 対策 整億備 9 運 万円 岜 円

管由 1 通 6 備 路万 ・駅前・駅前 広

8

6

5

千

円

置防なめの 犯街ざ街灯 3 維灯 ま 4 持 **す**! 1 管防 0 理犯 安全で安心 ラ 0 設

 \bigcirc 対り平 す被成る害25 1 〜 ブ 3 ミ 利を年 ラー 子受の 1 円 等 円

住 等消 費 宅 「 2 生 1 5 5 7 耐 震 設円置

の避 整難 庫円 等

1 防佐 1 組倉 億合市備場 5 運街 4 へ 一化 千 の円 町

やめの備 が 億 時 り ざ 街 等 い 5 福 に し 1 給ふす 2 万 る 経 8 の街康 ح 費千支 円給 LI

○ 〔 ○ 〔 ○ 〔 ○ 走 1 障 2 臨 人 5 が 億 時 6億2855万4五老人福祉関連経費15億1956万4年を おい福祉関連経費 万4千 円

 \bigcirc 家6老庭億人 児童 当「童の1相 支 0 給 4 談 049万円〕 3万4千円〕

8

1

6

万

 \bigcirc $\overline{\bigcirc}$ 6 1 4 8 臨 時 万1千 特 例 給 岜 付

(ひと 成等

円 円

児 4 保 光童クラブの 金属の管理の の8理 円

宅離 支 職 3 支住 8 (給費) 万 3 千 円

 \bigcirc 1 予 1 生 院億防6医6接6 9 3 5 O 5 関 9 整万連 の円補

> 6給国費ル _〔ス種 8検が 1 査ん 3 費 1 等 検 5 助 7の診 1 成 万 健 ・万等 係円康肝 增炎 千 進ウ

37億3860万7千円〕 37億3860万7千円〕 (987万5千円〕 (987万5千円〕 (987万5千円〕 (1987万5千円〕 (1987万5千円〕 (1987万5千円〕 ツ

連地 |経費|

四 \bigcirc とめのド後 ドック助成〔150後期高齢者医療での〔5332万5~ 助成〔150万 断者医療での 区療での人間 4万5千円〕 方円)

! か な自

信設置へのは を共生する ではます。 1の型 1の4補合街 理 浄 化

不 IJ 法 サ Ź 水一投 3 ク 0 ル 1 棄 8 0 6 監 万推4助併 進 経万 費

3ご5場ク経河 3 運セ8 査 営ン0等 万 千

セ 9 処 理 8 3の千経 O 9 費

プラス 0 繕 チ ツ 万 クの

経イ 3 万

末 サフォー (1) 10設

住

水 9 •

心 **ത** 豐 か

さ

别 支 援 教

2 手

幼

就6查運 励 千

4 災年 6 対風万 す263 号千 によ 利

排 水 1 施 0 設 00

10/ 2維5 万 持 理 6

万 管 2 汚水施

万 千 円

育

7改方の中方員

5 化屋 7 調内 動 2 動場 7 8 千円〕 切稚園施設 の第一円〕 の第一円) の第一円)

整中経青 - 央公民 館 の 9 育 4 管 運 営

図 6 理 2 万運 万 営 円

史 ~編さん 体 (3 3 3 3) 1 関 伝万運万連 大4営5経4 会千経千費千

市民体育祭の選 学校プーナッツ駅 学校プーカッツ駅 事業関連ル等の スポーツプラボ フーツプラボ フーップラボ フーップラボ の円費円 運

ざします!

市

民ととも

0) 学 校 開 放

ンタ 万ザ万7の9 万

活気 に

援支 千 金援円 < 等 り

支 輝 産 業ま 援け

へ総一援けの中1事ち 補 央 4 助用 水 3 改 千 円 良

年3使15全 万の 万成万関 6 保 千存8 千経円活 千 円費 用円

一地1の

0 利 0 用

万集

円千

滑円

化

円

3

理円事4連 4 業 千 関 円 連 \bigcirc \bigcirc $\overbrace{1}$ 0 振 5 4 万 経

○市シルバー人材センターへの補助〔1125万円〕○南工会議所への補助〔1446万円〕○南店街の振興支援○商店街の振興支援

街等 (77万8千円) 支援サイトの運営経

八 ○ ○ の 費協経地 励働のまちづくり即栓費〔1769万2地区コミュニティの つくる街 [1769万2千円] 0) 推

スめのざ への充実した街のざします!市口 〔64万1千円〕 働のまちづくり関連経 民サー ビ

報広 報やちまた、こども広

の発行経費 $\begin{array}{c} 1\\0\\6\\2 \end{array}$ 万 5 千

○各種システムの運用経費 ○八富成田斎場の運営経費 〔3439万4千円〕 「258万3千円〕

総合計画の策定経費 [1億9407万4千

○電子入札等関連経費 〔328万5千 [353万7千円]

こ格るたび造お

平と者には売のよ八

成が名は賃り請び街

、貸払負設市

さ入札務のの工

れ札にの購委事

い加加供お、測

る資すまよ製量

し請参対入れ札

受格平参な資

け審成加い格

付査26を方者

け申・希で名

開一年す八に

始随度る街登

し時入方市載

ま申札をのさ

営千☎財さホ子

間だの電

ム治

を請27望

て参参提入託

計の

平

成

26

•

27

年

度

入

札

参申加請

前資

随格

申查

請

の

受

け

付

街 職 員 用 試 験 をに 般

すし町試お試年験けで 。たに騒、騒度では たに験 `験度(では 場限の印に印第採 合り受旛よ旛1用平 はま験郡り郡次す成 す申市実市試る27 。し職施職験職年 失 格併込員し員 一員4 と願み採ま採をの月 ながは、用す、用平採1

をにま成学れ5和験般用布はた除基れ5歴た年54資行予す5、 一種おでか験 でか験 10よす。終の由 。総申 人 務込 課書

人

程

1 月 日 2 ま日 でか にら 生平

を大で月い 卒学 ` 2 **ま** 業一学日せ し短校以ん た期教降 方大育に

度 ②① は次 (4) 第たし政破に日こまそ禁佐成日受の 1方、党壊成本とたの錮人年本験い 党壊成本とたの錮人年本験いむ業平 まそす立国がは執以 被国で ず す成 たのるし憲なそ行上は他こた法くのをの 後籍 る27 見でまか 見 年 このと政まな執終刑 込 3 人はせに れ団を府たる行わにに体主をはまる処 まなん該 み月 たい 当 のま 加を張暴そで受ませ 方で は方

印1方 旛次 郡試 市験

職

7 月 験付27 日 午午(日) 前前 共員 108 同採 時時 30 試用 分 験

含卒 第第掲配 試試まる 試 験 案 内

行

政

市

後

期

命

矢

助療

成

が

始

ま

ま

た

験験す

合 格 者 13 通

る

方

午6受し 前月**付**ま1**2**載布 83**期**す次次しす 時日間 30 \ 5 月 20 \exists

被

保

送土 20合旦午分6 20 日 は 日 後 5 を 時 除く)

6の曜 月場 印 有 効

※

郵一

入結す力ののけでら

し成るで下方る

間いは域験 四☆務印合直市さ当☆総 4組旛わ接町れ市4務 合郡せ受村る以4課 管市く験圏方外3 理広だ希事はの| 0課域

は望務、市1 市い市組印町1 。町合旛な1 郡 ど 3 に おま市を 問た広受

町 村 卷 事

http://www.i-kouiki.com 3 9

な ど

知 助助検たお者は 帳住年の上査額した、び疾平街 ま場短早病成市

万の 円 1

1

録あ継 さり続 、し れ て住て い民八 る基街 こ本市

助者予 成医定 を療の う短年 け期度 て人内 い間で なド後 いッ期

かた実予 なは施定 ど短すの し期る年 て人特度 い間定内 なド健で、 いッ康 こク診国

す合期期の26後 。の人治予年期 費間療防度高 用ドに・か齢 のツ役早ら者 一ク立期被医 部をて発保療 を受る見険で

険てと診内

料い

をる

完 後

負提る成のか

査で、

受市

期に

高必

齢 要

者な

医も

療の

被

保

険

者

を

に所以要限費 記が上件2用

とを査保受こク高受と台に1請 (検成成しめよの、八 まで検との齢検

2

(6) 井四病葉地浅山聖ち国成定方へに事検市納期納診が受 ⑥つ業査がし高期し実検 、て齢限て施予 全てど果短い者のいす定 て同にを期る医到なるの

・・・・・指す① のいな結 の意使取人こ療来い健年 要す用得間と保しこ康度

°をほ承意さずッでのをす助成印証後請

検の指担出際を受ん

前予定がすに希け

に約医少る医望方

申を療なこ療すると機る

をた関なで関方

てと人ま窓承で、間ま口認受

しあへり

・い裕間・**注**だ必ドので書検・助

い受ク

市保央字関 民健病病 病予院院

もど認

つか書

てか郵

申り送

請まに

しすは

ての1くだ、2

さ余週

院防 財 寸

上街院病域井王隷ば保田医 院医病病佐県旭赤療 一療院院倉民中十機 旧機 千能 葉推 社進 会機 保構 険 千

☎国注の指 4保意申定 4年く請医 3 金だは療 課さ出機 い来関 ま以 せ外 んや

の受

で検

動 車 税 減 免 申 請 は 毎 必 要 व

記道

念 徳

病洲

院会

病

1

1

3

9

ペ体 会 電 3 1 共 子 ジ同 自 1 を運 治 1 営 体 1 確協 共 7 同 認議 運 く会

http://www.e-chiba.org 協葉4政い」自 議県4課

ま車緒を受害者 す税に受け者手身 をしけて保帳体 減ててい健 免いいる福療害 するる方祉育者 る方方、手手手 こはとま帳帳帳 `生たの が軽計は交精戦 で自を交付神傷 き動一付を障病

0 減 免 申 請

しず減平請 申あよたて5免成す 請りりだく月を26る しだ26希年必、さ日望度要 免障い例さ分が 。まれ軽あ きの でる自り に方動ま 申は車す 請、税の を必ので

を 免 障 知 26

運許害書年

度

軽

自

動

車

税

納

転証者

する一(減・手帳)

(減免を受け

減 で害 な内 い容 場な 課印る運身税平 税鑑車転体通成

○もに にま

毎

申

26 必 簿 要に八借い、 27で登街の、物な建 年す載市入役品ど設 度 日 八 時 街 市 場 入 会場 ホ か 一詳た)加家れて、加 、細。の資にい加 、無な資 容 ペに 1つ 対 ジい まて たは は 千八 定員 葉街 県市 費 参 加 費 申 申 L 込 み X 締 8 切 り 問 問 61 合 わ せ

街 巾 民 楽 開 催 व

自

死

遺

族

支

援

わ

か

ち

あ

LI

0

U

だ

ま

IJ

せ

時来果がる唱・民 出吹市開開る場を出吹部高音今 演奏中式場月く披演奏 等楽年 18だ露し楽市学祭 `団内校は19 団コ民前前(E)いま日や外の 体 | 館1111 °す頃合で吹 で吹市目 。の唱活奏内を ぜ練サ躍楽の迎 ひ習しし部中え `のクてや学る ご成ルい合校市

定と公午午日さし 時時 20 分

予楽央 (原 ス 不の 同発 表

※ 入サ八ル八合ドケ部千八街八吹 場 ン街ひ街唱・ス 葉街中街奏 は・女ま中のシト音黎南央中楽 無コ声わ学部ンラ葉明中中学の料 1 コり校 フ、ウ高学学校部 1 ォ八イ等校校吹 合 · ラよか、 スか ニ街ン学吹吹奏 ア市ド校奏奏楽 ·吹楽楽部 か ウ 八 ぜ コ も 、 ー

でラ

街

※ 更 と な

。合で利ス場合演 わ来用等さが団 せ場くのれあ体 にさだ公るりは ごれさ共際ま 協るい交はす 。通ふ 力くだ、通機関あれた。 た関あいをい だ さ乗 をい

イオ奏部部

1 楽

※ ☆社ま園中臨いり車ごバ来場出 4会す駐央時 4教 °車中駐 。車中駐 場学車 を校場 用おと よし 意 びて、 L 7 0 あく八 りし街

1

3 育

街 市パ 域 公 ツ 共 交 通 総 r 合 手続 連 携 き 計 結 曲 果 の を 策 公 表 お

表果実リらま連に ッ3た携八市 お
し よしク月、計街でびまコ5平画市は 策しメ日成を地、 定たンま26策域平 しのトで年定公成 でのの2し共26 `手間月ま交年 計 画そ続 `20し通 3 をのきパ日た総月公結をブか 。合末 公結をブか 合末

公 ○まな 5表3きパしご市 5月1日 る人からる意見ありがた こだの皆さんに に対する意見 がした。 んには、貴系 い重

の見 メ 意の ン 見件ト 数手

H

ま

☎面市休中午月企表 4 画 ホ 館 央 前 与 ペ外館30日 1の・分 ジ日図り 書午 館後 5 時

ニ 最 通 に 2

工寄知自日自

スのが車ま車

ス金送税で税

り書動(月)動

外 部 評 価 を 実 施 ま

を性を事 目や加務市 的透え事で に明べ 業は `性評評 行を価価行 財確にに政 政保お外内 調すけ部部 査るるのに 会こ客視よ ょ にと観点る

> まよ 外 部 評 価 を 実 施 L 7 13

い事 、業平するそに成。外 の25年度 を外は ホ 部 1評11 ム価の ぺを事 1 行務

間コジ ☆行ーお 4 財ナ ょ 4政1び 3改で市 革公役 1推表所 2 進 し 内 6 室 て 文 い書 ま公 す。 開

時 内

オ 正 5 講

ス午月演

きなな切 いとときを思なくされた。なくされた。 くさ人 せ持た愛 過 つ方す $\sum_{i=1}^{n}$ ホ方へ ッが : 人 ト 集 同 を し 7 みでいじ自

時まき心よ死 偶せるおうで大 年17月数んひ 2 日 20 月 か 日 第 3 日月8金 19月曜 日 15 日 日 平 成10

27月6 月 2012

曲

辰業

時相のを 寄談言おあ**死**れ天午 月数を葉話な遺た切後 16月始にした**族**方な日 日第め耳くの**支** 方80 下3まをだ心**援** を30 7 金し傾さの -月曜たけい思対18日。る。い西 18日 日

9

を30

自分

死

で

亡くさ

内 — 午27月 面後年19 接11日50時月、 分301611 分日月、21 21 (要予約 3月、平均 続 相 談 約 有 日成

ر کر <u>ب</u>

`あや相

個な悩談

別たみ

る

問 の 2 電会 2 話福 2 事 2 事 2 本 $egin{array}{c} \mathbf{2} \ \mathbf{2} \ | \end{array}$ 務法庁 4局人舎 千 4 葉 1 6 61 0 ち

振 印 地 域 整 備 計 曲 (1) 变 更 申 請 は 随 時 受付 7 LI ま d

れ備れけ計 次て促るし画八 回い進八ての街 はま協街お変市 す議市り更農。会農、申業 会 農 に業年請振 よ振2は興 り興回随地 審地開時域 議域催受整 さ整さ付備

成 25 年 11 月

30

予で日 回用農定のか 申の地用で申ら 請審へ地す請平 。受成 付26 分年 を 6 審月 議13 す日

るま

は次農 書議のか 類を編ら の希入の 部望を除 数す計外 とる画ま 申場さた 請 合 れ は

間ま※し13内 政成 課26 へ年 提 6

出月

政 課 13 あ

4 政 4 課

 $\frac{4}{3}$

1

 $\mathbf{4}$

0

2

á 動 車 税 0 納 期 内 納 付

ト融付事での ア 機さ務す納 。期 な関れ所 やまか5限 コすら月は で 早ンの納上6 めビで税旬月 〜納 ツー 13 納付トネま納 納 1) - ・ 期 が カ ッ た 8 ま 限可一ト ま能ドを今している。 のなの用度う。 手り自し ょ 続ま動たイ がた税レン 必。のジタ

問封 **四自動車税事務**所到のしおりをご覧到のしおりをご覧 所覧通 < 知 べきに い同

2 7 2

才 ス 1 人 1 h 社 会 適 応 訓 練 講 習 会

第

2

17と メ午日補 イ後生装 具 展 示 相 談 会 係

従

事

者

担

当

対

ト

家

族

4

とその

<mark>場</mark> ※ 千 参 員 医 葉加な療 市費ど関 文無化料 セ 夕

問

午月☎千 時日1協

ま

ト く さ す 書

字よ

をく

中使

心わ

にれ

学る

習言

城

野

田

市

申定場

日申博

(木) 込物

午順館

で

子 中 立

関

宿

城

博

歴

史

座

文

を

む

る

方般す

2

回

連

続

参

加

で

3

☎ 県電 5 30 関

で8

立話月人宿

前

9

時

ょ

り

各 6

午月

前 8

10 日

時(日)

正 7

午 月

13

日

(日)

0

4 関

宿

城

博

物

時

日

時

場

会

場

内

容

対

対

象

定 1

定

員

費 参

加

費

申

申

L

込

3x

X

締

8

切

り

問

問

61

合

せ

1

9

6

4

0

0

広報やちまた

申費定

も **(D)** の県 け立 来中 る央 ぞ博

物

館

ツ

河卜

かク

つス

ぱ展

1

•

小

規

模

事

業

0

融

『地房伝 会し カ の総説千 トー河のが葉 童河残県 情童るに 報の 報をまとめたの絵図と県内で一河童(かったの ツ を た内ぱ承 展

一場午5 ま 般料前月期す 9 10 時日 5 5 午 6 後月 4 15 時 日 30 分

軍県 3 0 茶立 0 利中 円 山央

> 生・ 以大 下 学 ・生 65 1 歳 5 以0 上円

> > は

で残し資保

てを証

一けし

でのり金

き生

①ーながか

1 ク 1 河

童

るい多証場が法ルど破ら個

て額が合明人がを綻融人

どに個きす

にが証るいさ資たが定たで

てれ産

とに分人まこも受な

しと

☎ 県 県 午 5 も 連 無 中 高 2 立中後月の講料学校 6 中央 131の演 5 央博時日け会 博物30生)ト 3 物館分 1 館 講 5 堂 2 時 30

分

もの不な確と

個 要

め営保なお離の

き行と個て・

早経人

事行を

1

1

森物 の館

時で自ま天 す然軍 記茶 利101をがス念利 ダ物山 (日)察るジに植 自イ指物 L ま然 を定群主 豊 す かとれは なすて県 森るいの

氏<u>参5015</u>周軍午<u>6</u>植然 名加円人辺茶前月物林 (ぐん) 後 致抽選) 宮町) 3 時

望保申長山時日観残 話者険込生 番全料多郡 号員 数一 0 年 住 齢所

て博F行 物立月い物A事 館中18ま館 X 名 窓まを 口た書 ではC て、 メ は 1 け が

☎博展 5 央日す。 7 0 勝博(日) 浦物 市館 分 館 海

2 1

🖺 umihaku@chiba-muse.or.jp

植海 物の を博 観物 察館 し観 よ察 う 会 動

7 け

方

室

争

約

制

付ル 。き け

0 時実※費定 つ 職 ピ 管 実 3 20 午 5 技 飼 無 20 午 2 11座 先 時 日 着(印) 順 4

は 同 伴 で き ま せ ん

211座犬 (日) 順 4 時 6 月 8

日

(日)

パ護※費定 す物

保

月

8

日

(日)

VIL 料間月り加をけ員 | 理技 0 組後月講い料組後月講し は24ま者目方かり協講0 211応日すに指をらう会座0先時日 °はし 学子スがは円着 まび犬へ開千 優 、の予催葉 先す 。模飼約し県 的 範い制ま動 に 子 的方 犬 飼·

相(土) 談 • 6 月 28 日

再詰っ 人い経 る活事機 保る理 生まて ル費業関 間 は 東中お金た主がにと定や 。導 、関をの廃 1本小問融 の中す定生業 6部金い機 2 ☎ 業 合 関 0 基わと 3盤せ相 策業 イー く談 定庁 ド 経 整 備だし 5

セ 夕 動 物 愛

時 成 まン 6 す 夕 3 月 1 0 成 日

時 6

月

8

日

(日)

飼 費 会 ※ 加時午122讓愛渡 で間後時日渡護 きに 130休しセ ま遅時分・ せれり 5 んる 1 と時時26 譲30 渡分

時場い 。 主の**さ** さ欲が んしし といの の方会 出 出る子 いげ約 のた制

受午犬受9犬5で飼犬い無に受受午5猫動般 葉料付前猫付時猫月すい猫主料参付付後月を物譲 9 10を午30の11 時時あ前分欲日 30 / げ9 / し(日) 分11た時11い・ ∮時い∮時方6 方 9 時 30 分

千無 動 物 愛 護 セ 10ン 時

(土)

営 者 0 さ h も 、必高資 の無 づ料 な者性技が マの

ま

よう!

下小るめ活を 企ガる費決 な断 どし さ・ラ営がたれ金イ者残際 ま融ン保るにし庁」証こっ てりいりれ

ががるもは

刻若要度源

状のが術乏

況モ叫立し

っくてあこ

とノば国

なづれで

深

さた 機 $\mathbf{4}$ 構いい 7 。方 0 関

し能行直業のな開 て継い接・づど発そい離ま続か日い承、訪業く高協こまれすけら本 ? 匠まや若問界り度会です。 す後者さ団マな で

へせ体イ技は千

・ス能

一つ技業

育効実学タを1県

成果技校 1 持級職

支な導どを一能能

援技をに企も士力

造かひい承 0 お ょ 技 び 建 触 設 れ 業 7 13 3x 関

(木)

犬

間間※

会

スに 夕触しれ 派 企 のご案内 業や業界 团

体、

リ、遺望校の 、60期になあ る力ど企 日

いに お

者のて

を的指な

動交

5

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
--

圆 ※ ※ 八諸午 街事前 幹情… 部に午 よ 前 り 10 開時 設 11 できな 時 30 分 「場合もあります。 午後:午後2時~3 :午後2時~3時

(日)野

午一山

云 板

座

持 費 集場 ち3合勢午5**13** 物0場田前月回 0 所方1011春 面時日の 草 · 後雨を 3 天歩 公 民 時中こ 館 30 止う 分

4 会街 4 岸市 2田レ具お円 ク ・弁 秀 0 臣リ筆当 エ記・ 1用飲 シ 具物 彐 雨

ത)大運動 会を

の校5 校グ月 舎 ラ 18 改 ウ 日 築 ン (日) のド

間た※場※晴い朝 め朝八雨5ま 陽街天月す 小 小北の17 学中場日 学 校 校学合生

小学校

初佐 & 者

く加※1※場 費い0 分 み公 こ込 テキ 5 民 館 4 ス ト 代

サす。ポ B すに 要参加に不 筆で関要。 ま な参 で

務 所難 Ρ ☎ 聴 O 4 者 千 4 9 協葉 6 会県印中 6 1 6 5 3 3 1 事者

時玉東 午 6 掛金 等前月け労 9 12技働 時日能基分常講準 習 協 会の 講

督時日能 H (金)

時 講 職 者 安全衛生 教 育

(水) 19 日 (木)

問 🗸 さ 基 た ※ 東5い準は受午6習長 。協事講前月 業を 9 18 会 ま 主希時日 での望 連 方 絡はれ 東る てく 金個 労人 だ働ま

金 7 高等 金月 5 労24 5 働 日 術 2 基(土) 準 門校 1 協 0 会 訓 6 2 1 0

4

ァ

官科技 技目術 月 生

生

術

科

6

カ

月

間正す

選選メ定 方日月人 16 5 日 月(金) 27 日 (火)

間 ※ 受 県授験職考考59 立業資業方東料格適法 金は 性 高無学検 等料歷查 技 で不 す問面 術 専 門 校

難

ത

もうすぐママに 問に開 をな<mark>催</mark> 解る

ま し心 よも 7 体もリータニテ う。体も 0) 不 安 フ イ eg疑 レ ツ ツ シサ ユ 1 ジ し 消妊 まで

期育ラ日日~てブ(水)(火) 支風 臨 月援の午6 ま セ村前月 ン保1017 で の夕育時日 妊 1 園 (火)

要限 では す あ り ま せ ん

0 育ラ 支風 援の セ村 ン 保 タ育 袁

脅た 公八生無子人婦妊八生 7 5 かち 4 街活料約数さ娠街活月月 すの 4 子ク がにん初子ク 9 20 不生 0 育ラ 必制 ^田 デニー トを私 ゥ 法活電の 2 波 安 0 をシ・ 0 8 ヤ安ツ全 1

し 保10 て護日総 までを 。発一は 強電 6 化波月 期利1 間用日 一環か と境ら

合波に豊す啓 を か 信 使 ル な 局い1社 まし 会を ル を よ守実 り現

レ **7** 0 ビ3・ ラ 6 ジ 2 オ 3 0 8 受 信 1 障

3の地9 受信 上 | 信デ | 相ジ 談 夕 2 ル 0 テ 3 レ ビ 6 放 2 送

報空科学博 物 館 **ത**

内ばチ情航

1

内集費時

つ空

らな内ん示 午れい 車 、集特い -た ち 見 見触め殊

街

や費時

図を室乗務員の経験者から 「客室乗務員のおはなし」 「客室乗務員のおはなし」 「客室乗務員のおはなし」

民い

館場八に

合街配

図はマ布を発書、ツし各行

館市プま区し

(月)(土) 教み(日) 4

9 害法 3 🅿 無 0 線 局 3 13 ょ 6 2 る 3 混 8 信

問

13

合

わ

4 5

8 9 4

ツ

場 ※

八荒

北場はり

リ 18(日)

1 日

隣(日)

・ャラク

空乗港車 でだ場港者施両 しりにのを設 をるれま車も港

庭ッに

プ

よ (株)

りゼ

行リ

ン

ン

午 5 行入 5 の仕客 後 月機館月講事室 1 5 3 工料25演の乗 時日日作の日会魅為 で力員 す 後 1 時

5 2 の時 6 み15日日 分(火)(日)

 \bigcirc 般 寄 附

築 工 組 合 様 ょ り 5 9 0 3 4 円 0 寄

附

内展募**航** 内 定 イ航園示集**空**ぶ飛ゴ午40 ツす動10~ (学 で行 説 す。 を しま よく 9 す。飛て 順

午毎

前

口合5午曜北

15113開市

5

口は月後日

夕月日時催

ル 日 小 来 全 か 飛 ゴ 午 40 ン 空 児 期 井 コ ば ム 前 人 、 に ・ 問 思 ツ ツ さっ に・間間 工関小 ズア す学119**ア** る生月月 な を 1 30ト 画対自日展明 象 (火) デに30まザ、日で 集

479博 物

☆ A 4 4 3 - A 4 3 - A 5 - A 八ほメベ 来、ラーメン、焼きそば八街特産落花生、新鮮野ほかステージイベント メキシコフェスティバル ン街天今9第ト駅の月時2 未売 来 4 3 5 岡 9 田 ば野

ツ を 四乙 ま た 用配

をたと 役がし 所届た 通 0 じ 一協 八番事 一中て ツ央い プ公な 家マ業 く 布 南 ラ 1 のの祉

0 診

0 問

円診

検

合

わ

せ

な 診

寸

検

時

3

1 6 3

込み・問い合わせは、 、市役所健 理課 **4443**

が h 検診 みれ50 を

大 、 検に (腸2913診生昭 が日日のま和 んの 検 5 14実 た 年 診日日施方3 の間

5 6 月 27 日 0 う

いセ のン 地夕 区门 をの

持検大さくがチ防バ※

持一胃しはせに※ 性妊次相内内時で査前注費胃ちバが込、んは昨巡ほ総診ち5同胃65大3140しがが娠の談服な間く終日意用が物りんみ6。、年回か合会25月時が月月腸日歳まんあ中方し中ら前だ了の事1ん ウ検く月受問度し、保場日15実ん2812が以以す・るまはての可まさまで項0検 ム診だ20診診受まお健 間日施・日日ん前上 大照 で日を票診す住福 ま社 部 ま 望郵て さ送い で にれさな おるれい 申方ま方

診 無推※出注※ (2) 一業がく項票だ期く以ん事 のや 採 う提 便 え 出 、場 避 提所

楽妊ムマ月歳40料進大し意問て生け3胃注円便大ち査腸い確増エぐリ新症手じバ □1の歳ク事腸で事診く理て日が意 ろ 時 <u></u> 45 ポ 対 ん だ を で さ 間 だ 内 検 項 う点年歳ン象検さ確日い中さの診 齢、を者診い認程 は50郵 二 一 平歳送のが し方ん 成 2655まに検 年歳すは診

は診だはでに °食時

妊でさ、す2水事以

治

医

0 はは降

0 検しか

ml査なら

以2い検

7 4 60 ッ ル

つん で緒 すに

娠きい主

のま

可せ

能ん

0) 場一

認えッたウた状足んリ のまクめムなががまウ 、検安出冷しム えたな<u></u>
るを全たたん検 受 。ど検に基こく、査 診問の診よ準とな息を し診問前るにがる苦受 て票診の事よあなしけ くを事自故りるど だよ項已を 方の

うし 血 反 応

が 検 便 潜

容腸物 器が、ん ん 検 検 診診 費問 用 診 3票0、 0 0 検

(1)。はい便を 。は受 採け 便た をあ

②のす①日①呂調妊赤ハマ助20 、月入実期やカニ師 話養れ輩操フ のあマ お話いママフ & マリ

みで※ 加ご③ 午・すいス日② 。日の金5 程日 月 との の程

を

。 (休) 5 の理娠ちピタ産 午も都で③9れ習かんフテの先 午前可合15日方、らとエイお着 前の能のコ月金な歯のの、1話順 ・みでい130、どの栄ふ先体 15 風と

のが事更原用祝類ち午務看

る年

場間

合一

有雇

り用

期

まいさ不 わ参まの出く妊すとん安妊 せ加た方産過娠 いやが娠 う子あ・ では〜予ご中 き9予定しの 方育る出 ま月定日まひ て方産 す以日がせと お中 °降が7んと 待の身子 おの7月かき ち人近育 しがにて 問方月分 を てい妊へ いで以9 いな婦の 合も前月

臨い以も献※場 お血たの 願(だ皆さ とん 2 し て回とに

資しっあ て 資 子 出 を み格育産 てで まを せ地中ブし ん域のラ**ま** かで方ン**す** 。生もク か持の

診検容す1間もよ時9間師 資 あり間時 り平程ら 、日度午 を 有 応・ (後 す 相土検5 る 談· 診時 方 日のの 種う 願試試千 願

後日

4

間 を ☆タ千夕願8夕千書午5書験験葉協公寄無配察ルー進骨皿ボ午5 1 葉 | 書 | | 葉受前月受会日県会益り料付法をシ路密圧ン後月地県お配1 魚県付1020付場時調α社下で 、使ョ相度測べ117 午22 市健

域印よ布 保旛びは 健健成同 鏑康 課康田健 福支康 木福 祉 所 福 仲祉 セ 祉 田セ セ 町ン

費場緒ば ててる結時ま上に血一市午午豆数豆0調経のあ5加 問ん内新則期日に数前時護格働い方婚職すの、に人役後前月回月円理合参ち月方診検容す1間もよ時9間師 いる、や員。献複ごで所11016献7 実保加ゃ30法 習健がん日を の福可な金お み祉能どは選 , V. 材セ での ン すごパ頂 料 家パけ 費タ 1 族やま 4 一おす

場時

健日

セ午 ン後 タ 1

1時 ※30

約 5 制 3

分

祉

総5

合月 保19**相**

福用談

お 時時 願 LI 45 分

血数協も口時時日血日 `回力多ビ〜〜金)の炊 を献いく 1 411

間ち※ 人 千 気 葉 軽 12 お

0 0 県 2 看 5 護

佐印場時日期 理2団さす 倉旛所~~間幕7師4法い。 張月試5 メ 23 験 ッ日 セ(水)

使 ヨ 相 度 測 べ 1 17 救用ン談測定ル時日 急し紹 `定 タ (生) 時た介訪 `体成4 、問健脂田時 の乳 対癌乳看康肪店 応自癌護相測 資己モス談定 料診デテ

民 **ത**

第加 24入 道 交 時 □保2通給金 **県**険 km 費 1 以 1 が 労 上 0 3 災に00 う保限円円 険る

日

片

市の公共施設の一室を予育で親子の交流の場として開放しています

立

○総合保健福祉センター

5月1日(木)・2日(金)・7日(水)・ 8日(木)・9日(金)・12日(月)・ 14日(水)・15日(木)・16日(金)・ 19日(月) • 20日(火) • 21日(水) •

22日(木)·26日(月)·28日(水)

○スポーツプラザ開放日

5月2日金·9日金· 14日(水) · 21日(水) · 23日金 · 28日 / ・ 30日金

〈開放時間〉 午前9時~午後4時 〈使用の注意事項〉

○特定の団体のみの使用はできません。

○事故やケガなどには十分注意してください。

間児童家庭課☎443−1693

せ

図書館に行ってみよう

図書館のホームページ http://www.library.yachimata.chiba.jp 電話番号 043-444-4946

〈今月の催し〉

- ◇こどもの日映画会
 - 5月5日(月) 午後2時~(62分) 『ミッキーマウス ミッキーの消防隊』
- ◇えほんがうごくえいがかい【対象 3歳程度~】
- 5月10日(土) 午前10時30分~、午後2時~(各30分) 『はらぺこあおむし』、『だんまりこおろぎ』、 『パパ、お月さまとって!』、『ごちゃまぜカメレオン』、 『うたがみえる、きこえるよ』

◇パラダイスシアター

5月13日(火) 午前10時30分~、午後2時~(各94分) 5月18日(日) 午後2時~ (94分)

『星と嵐』(主演:ガストン・レビュファ)

午前10時30分~、午後2時~(各129分) 5月20日(火) 『妻はくノー 2』

【時代劇】 (主演:市川染五郎)

◇取り寄せにかかる送料を利用者の方に負担していただきます 6月1日(日)から、県内の公立図書館以外から本な どを取り寄せた場合にかかる送料を利用者の方に負 担していただきます。ご理解とご協力のほど、よろ しくお願いします。

〈今月の休館日〉

3 · 6 · 12 · 19 · 26 · 30

市図書館は、休館日を除く毎週水曜日・金曜日 は午後7時まで開館しています

5月5日用こどもの日は、臨時開館(午前9時 ~午後5時)します。

5月の移動図書館車〈ひばり号〉巡回予定日時

7日・21日(第1	・第3水曜日)
場所	時 間
交 進 小 学 校	午後0時50分~1時20分
榎戸第2児童公園付近(泉台)	午後1時50分~2時10分
藤の台集会所	午後2時30分~2時50分
みどり台第1児童公園	
1日・15日(第1	· 3 木曜日)
場所	時間
二州小学校沖分校	
八 街 市 役 所	午後0時30分~1時00分
文違コミュニティセンター	午後1時20分~1時40分
市営住宅朝陽団地	午後2時00分~2時30分
朝陽小学校	午後2時50分~3時20分
14日・28日(第2	・第4水曜日)
場所	時間
二 州 小 学 校	午後1時10分~1時30分
JAいんば物流合理化センター前	
吉倉ガーデンタウン	
朝日区コミュニティーセンター	午後3時10分~3時30分
朝日区コミュニティーセンター 8日・22日 (第2	午後3時10分~3時30分 ・第4木曜日)
朝日区コミュニティーセンター 8日・22日 (第2 場 所	午後3時10分~3時30分 ・第4木曜日) 時 間
朝日区コミュニティーセンター8日・22日 (第2場所市営住宅笹引団地	午後3時10分~3時30分 ・第4木曜日) 時 間 午前9時40分~10時00分
朝日区コミュニティーセンター 8日・22日 (第2 場 所 市営住宅笹引団地 笹 引 小 学 校	午後3時10分~3時30分 ・第4木曜日) 時間 午前9時40分~10時00分 午前10時10分~10時30分
朝日区コミュニティーセンター 8日・22日(第2 場所 市営住宅笹引団地 笹引小学校 川上小学校	午後3時10分~3時30分 ・第4木曜日) 時間 午前9時40分~10時00分 午前10時10分~10時30分 午後1時20分~1時40分
朝日区コミュニティーセンター 8日・22日 (第2 場 所 市営住宅笹引団地 笹 引 小 学 校	午後3時10分~3時30分 ・第4木曜日) 時間 午前9時40分~10時00分 午前10時10分~10時30分 午後1時20分~1時40分 午後2時00分~2時30分

※交進小学校・朝陽小学校・笹引小学校・川上小学校で は一般の方は利用できません。

※暴風雨などの悪天候の時は運行を中止します。

夜間および休日の市税納付・納税相談窓口

とき

5月13日(火)・20日(火)・27日(火) ○夜間 午後5時15分~8時

○休日 5月25日(日) 午前8時30分~午後5時 ところ 市役所納税課

業務内容

市税の納付、納税相談

詳しくは、市役所納税課☎443─1115へ。

※5月25日(日)は市役所 の日曜開庁日です。

市民課・課税課・納税 課・国保年金課で業務の 部を取り扱いますので ご利用ください。(ただ し、住民異動が伴う業務 ・国民年金業務は取り扱 うことができません)

今月の納付

1期 軽自動車税

福 相談はすべて無料です。お気軽にご相談ください。

	-					
[法律相談(弁護士)]	5月7日(水)·21日(水) 午後1時~4時	総合保健 福祉センター	受付は先着10人まで。申し込みは、電話で相談当日 午前8時30分から社会福祉協議会 ☎ 443-0748へ。			
[心配ごと相談]	毎週水曜日(祝日を除く) 午後1時~4時	総合保健 福祉センター	問社会福祉協議会☎443-0748			
[こころの健康相談]	5月12日(月) 午後2時~4時	総合保健 福祉センター	問 障がい福祉課 ☎ 443−1649			
[年金相談]	年金相談は隔月(偶数月)第3木曜日に開催となりました。 間国保年金課☎443-1139					
[交通事故相談]	5月16日金 午前10時~午後3時	総合保健 福祉センター	予約制。 間 防災課 ☎ 4 4 3 − 1 1 1 9			
[人権·行政合同相談]	5月22日(木) 午後1時~4時	市役所1階 第1相談室	人権擁護委員と行政相談委員が相談を受けます。 聞総務課☎443-1113			
[農地相談]	5月22日(木) 午後1時~4時	農業委員会 会長室	予約制。申し込みは、電話で相談日前日まで に農業委員会事務局☎443-1483へ。			
[多重債務者相談(市税滞納者)]	5月25日(日) 午後2時~4時	納稅課	受付は先着6人まで。申し込みは、納税課窓 口または納税課 ☎ 443-1115へ。			
[家庭児童相談]	毎週月~金曜日(祝日を除く) 午前9時30分~午後4時	総合保健 福祉センター	電話相談も受け付けます。 問児童家庭課☎443-1693			
[学校教育相談]	毎週月~金曜日(祝日を除く) 午前9時~午後4時	教育委員会 学校教育課	電話相談も受け付けます。 間学校教育課☎443-1446			
[家庭教育相談]	毎週月~金曜日(祝日を除く) 午前9時~午後4時	教育委員会 社会教育課	間社会教育課☎443−1464			
[消費生活相談]	毎週月~金曜日(祝日を除く) 午前9時~午後4時	市役所1階 商工課内	問八街市消費生活センター ☎443-9299			